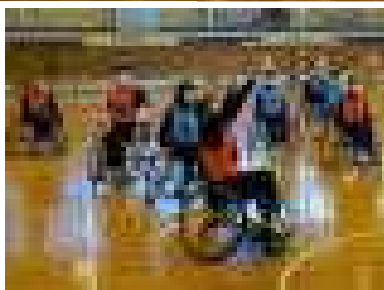




車椅子バスケットボール

9日、3年生が「心のバリアフリー学習」の一環として車椅子バスケットボールを体験しました。初めはバスケットボール用の車椅子の操作練習でした。当初はボールを手にならない状態でも車椅子の操作でどこか見られましたが、秋田県車椅子バスケットボールクラブの方々の指導を受け、みるみる上達していきました。試合は接戦続きで、チームワークのよさが目立ちました。今回の教室は、大仙市教育委員

会、法務局、人権擁護委員の方々など、多くの関係機関のご協力の下で実施されました。この方々からは、「男女の別なく協力して活動する姿が際立っている。」「楽しみながらも真剣に取り組む姿が清々しい。」など、今回の教室のねらいにせまるたくさんのお言葉をいただきました。共生社会の形成に向けた思いが高まりました。



花壇作業

花壇の維持のために、長期休業中を含め、子どもたちは水やりや除草作業などに分担して取り組んできました。そのおかげで、花々は元気に育ち、学校を彩り、私たちの心に安らぎを与え続けてくれました。

7日、降雪期が近付いてきたことを受け、残念でしたが、まだ美しさを保っている花の撤去作業を行いました。主に1、3年生が花壇、2年生がプランターの花々を担当しました。

子どもたちの主体的な取組により、作業は短時間で終了しました。作業後、花がぎっしりと詰まった大きな袋を両手に持ち、四苦八苦している女子生徒から、自分も一つ持っているにもかかわらず、一方を受け取る男子生徒の姿を見かけました。すると、それを見た他の女子生徒が駆け寄り、男子生徒の運ぶのを手伝い始めました。そんなさりげない行動が嬉しく、「心のバリアフリー学習」の精神が日々の生活の中で生かされていることを感じました。他を思いやり、その思いを進んで行動に移せるよさを大切にする学校であり続けたいと思います。



授業研究会

10日、秋田県教育庁南教育事務所及び同雄勝出張所の指導主事を指導者に迎え、美術と保健体育の授業研究会を行いました。美術は、3年生で、コマ撮りアニメーション制作の構想を深めることを目指した学習でした。子どもたちは制作途中の作品を互いに見合い、よいところを付箋に書き込んでいました。視点にしたがって熱心に評価し合う姿が印象的でした。体育は、1年生のバドミントンでした。「ヘアピン王になろう」というめあてに向かって、バドミントンの技術である「ヘアピン」の打ち方について班で話し合い、それを生かして楽しみながら練習に取り組みました。

放課後には、全職員で二つの授業についての成果と課題を検証しました。これからも全職員で、よりよい授業づくりに向けて取り組んでまいります。

